

長崎の世界遺産

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」

～住む人に誇りを 訪れる人に感動を～



大浦天主堂（長崎市）

長崎県世界遺産課

1. 世界遺産とは
2. 長崎県の世界遺産
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」

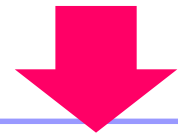
世界遺産とは — きっかけ



アブシンベルからフィラエまでのヌビア遺跡群
(1979年登録)



- 「ヌビアの神殿群」は、古代エジプト王が築いた貴重な遺跡
- ▼ 1959年からナイル川にアスワン・ハイ・ダム建設計画持ち上がる。
 - …「ヌビアの神殿群」のアブ・シンベル宮殿などが水没の危機
- UNESCOは、エジプト、スーダン両政府からの要請を受け、ヌビア遺跡救済キャンペーンを展開
遺跡の移築と保護を世界中に訴える
- 呼び掛けに応じた多くの国の協力により、アブ・シンベル神殿など20件以上の遺跡が、ダム建設の影響を受けない高い場所に移築



世界的に価値のある遺跡、建造物、自然を、一国だけでなく
人類全体の遺産として保護していくための国際的枠組みの
必要性が認識され、条約を作る機運が高まる。

世界遺産条約

- **世界遺産条約（世界の文化遺産及び自然保護に関する条約）の目的：**

文化遺産及び自然遺産を人類全体のための世界の遺産として損傷、破壊等の脅威から保護し、保存することが重要であるとの観点から、国際的な協力及び援助の体制を確立すること。

- **経緯：**

1972年 第17回UNESCO総会において世界遺産条約採択

1975年 世界遺産条約発効

1992年（平成4）

日本において世界遺産条約締結のための国会承認
及び条約発効（批准）125番目

- 2020年7月 現在、条約締結国 **194** カ国

世界（文化・自然）遺産とは

- 現代を生きる全ての人々が共有し、未来に引き継いでいくべき**人類共通の「宝物」**。
- 1972年、UNESCO総会で採択された「世界遺産条約」に基付き、全世界の共有財産として、国際的に保護・保全することが義務付けられている**「遺跡」・「建造物」・「自然」等の不動産**。
- 世界遺産登録には、UNESCO「世界遺産委員会」において、資産が他に類例の無い固有のものであり、国際基準に照らして、「世界遺産としての価値（=**顕著な普遍的価値**）」が有ると認められること。
- その価値に相応しい**有効な保存管理**が手厚くなされていることが**必要条件**。

世界遺産の登録数（分類）

世界遺産

1121件

（うち国内23件）



文化遺産

顕著な普遍的価値をもつ
工作物、建築物、遺跡
（文化的景観を含む）

869件（うち国内 19件）

自然遺産

顕著な普遍的価値をもつ
地形や生物、景色などを含む地域

213件（うち国内 4件）

複合遺産

文化遺産と自然遺産の
両方の価値を兼ね備えている遺産

39件（国内なし）

（2019年7月現在）

ガラパゴス諸島（エクアドル）〔自然遺産〕

<http://www.nhk.or.jp/sekaiisan/card/cardro42.html>

日本の世界遺産

23件（文化遺産19件、自然遺産4件）（2019年7月現在）

	登録物件名	所在地	暫定登録年	世界遺産登録年	区分
1	法隆寺地域の仏教建造物	奈良県	H4年	H5年12月	文化
2	姫路城	兵庫県	//	//	文化
3	屋久島	鹿児島県	//	//	自然
4	白神山地	青森県、秋田県	//	//	自然
5	古都京都の文化財（京都市、宇治市、大津市）	京都府、滋賀県	//	H6年12月	文化
6	白川郷・五箇山の合掌造り集落	岐阜県、富山県	//	H7年12月	文化
7	原爆ドーム	広島県	H7年	H8年12月	文化
8	厳島神社	広島県	H4年	//	文化
9	古都奈良の文化財	奈良県	//	H10年12月	文化
10	日光の社寺	栃木県	//	H11年12月	文化
11	琉球王国のグスク及び関連遺産群	沖縄県	//	H12年12月	文化
12	紀伊山地の霊場と参詣道	三重県、奈良県、和歌山県	H13年	H16年7月	文化
13	知床	北海道	H16年	H17年7月	自然
14	石見銀山遺跡とその文化的景観	島根県	H13年	H19年7月	文化
15	平泉-仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-	岩手県	H13年	H23年6月	文化
16	小笠原諸島	東京都	H19年	H23年6月	自然
17	富士山-信仰の対象と芸術の源泉	山梨県、静岡県	H19年	H25年6月	文化
18	富岡製糸場と絹産業遺産群	群馬県	H19年	H26年6月	文化
19	明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業	福岡県、佐賀県、長崎県、 熊本県、鹿児島県、山口県、 岩手県、静岡県	H21年	H27年7月	文化
20	ル・コルビュジエの建築作品 -近代建築運動への顕著な貢献-	東京都（国立西洋美術館） （ほか6か国）	H19年	H28年7月	文化
21	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群	福岡県	H21年	H29年7月	文化
22	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	長崎県、熊本県	H19年	H30年7月	文化
23	百舌鳥・古市古墳群	大阪府	H22年	R1年7月	文化



奈留島の江上集落（江上天主堂とその周辺）

長崎の世界遺産

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」とは？

「潜伏キリシタン関連遺産」の背景_教会の数

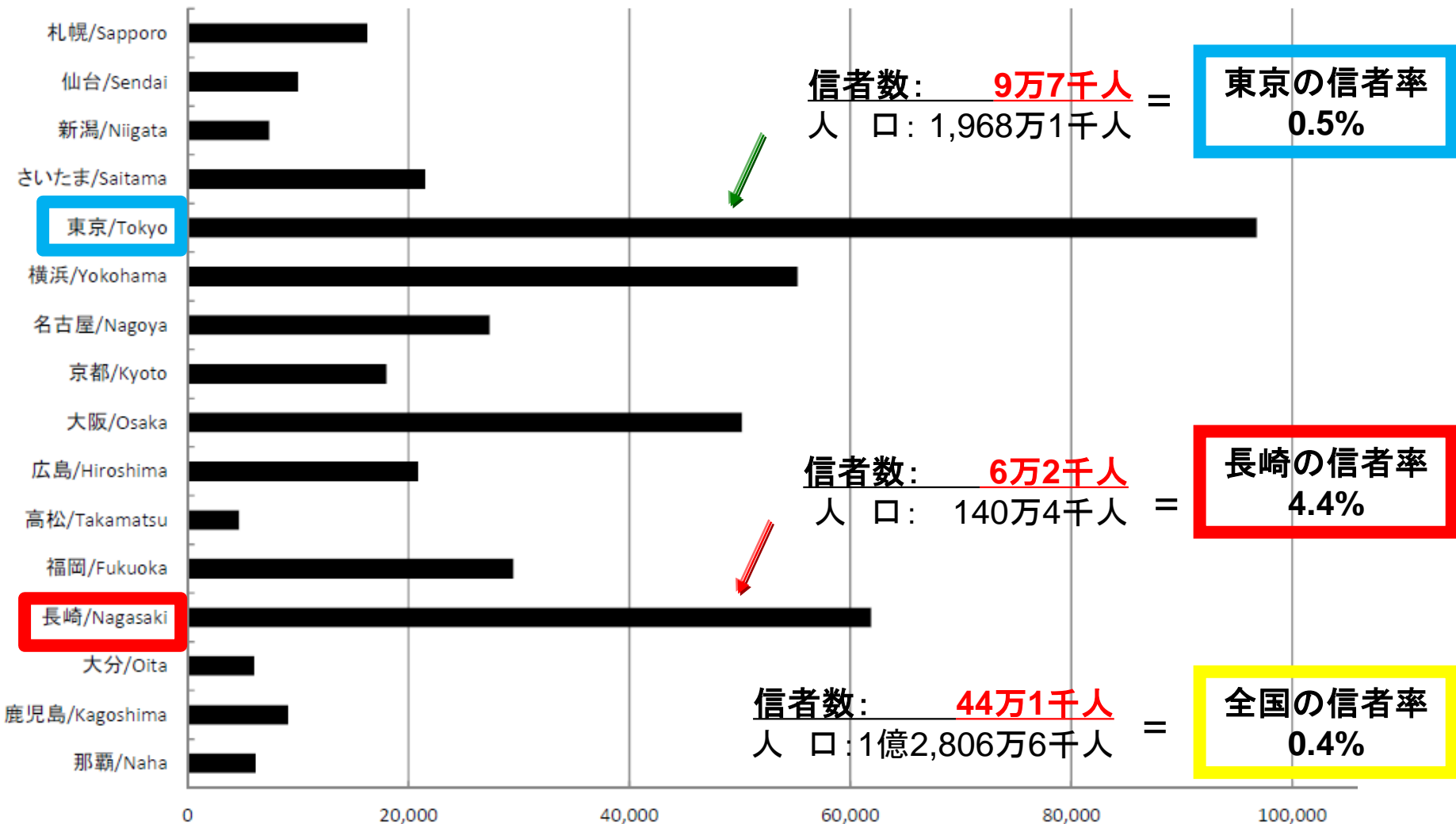
● 教区別の教会数

教区 /Diocese	小教区 Parishes	準小教区 Quasi Parishes	巡回教会 Mission Stations	集会所 Assembly Centers	合計 Total
札幌/Sapporo	57	0	1	1	59
仙台/Sendai	53	0	6	0	59
新潟/Niigata	30	1	4	2	37
さいたま/Saitama	54	1	4	1	60
東京/Tokyo	75	3	0	2	80
横浜/Yokohama	77	1	13	2	93
名古屋/Nagoya	48	2	8	1	59
京都/Kyoto	46	0	3	0	49
大阪/Osaka	77	0	4	1	82
広島/Hiroshima	41	0	6	2	49
高松/Takamatsu	26	0	2	1	29
福岡/Fukuoka	55	0	9	2	66
長崎/Nagasaki	72	1	58	2	133
大分/Oita	26	0	1	0	27
鹿児島/Kagoshima	29	0	40	0	69
那覇/Naha	13	2	5	0	20
合計/Total	779	11	164	17	971

五島列島に50

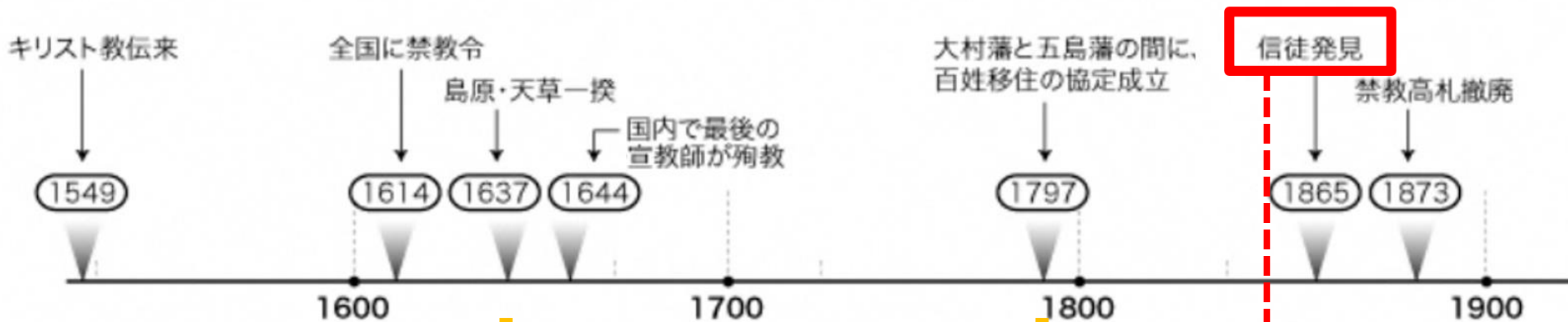
長崎にはカトリック信徒が多い

● 教区別の信者数



(信者総数 人数)

長崎におけるキリスト教の歴史



禁教令以降、各地の教会堂は破壊され、キリシタンには拷問・処刑など厳しい弾圧が加えられた。その後、絵踏みなどキリシタンを厳しく取り締まる制度が整えられた

キリシタンは、教会堂もなく、教え導く神父もいないなかで、自分たちだけで密かに信仰を守り伝えた（いわゆる潜伏）。

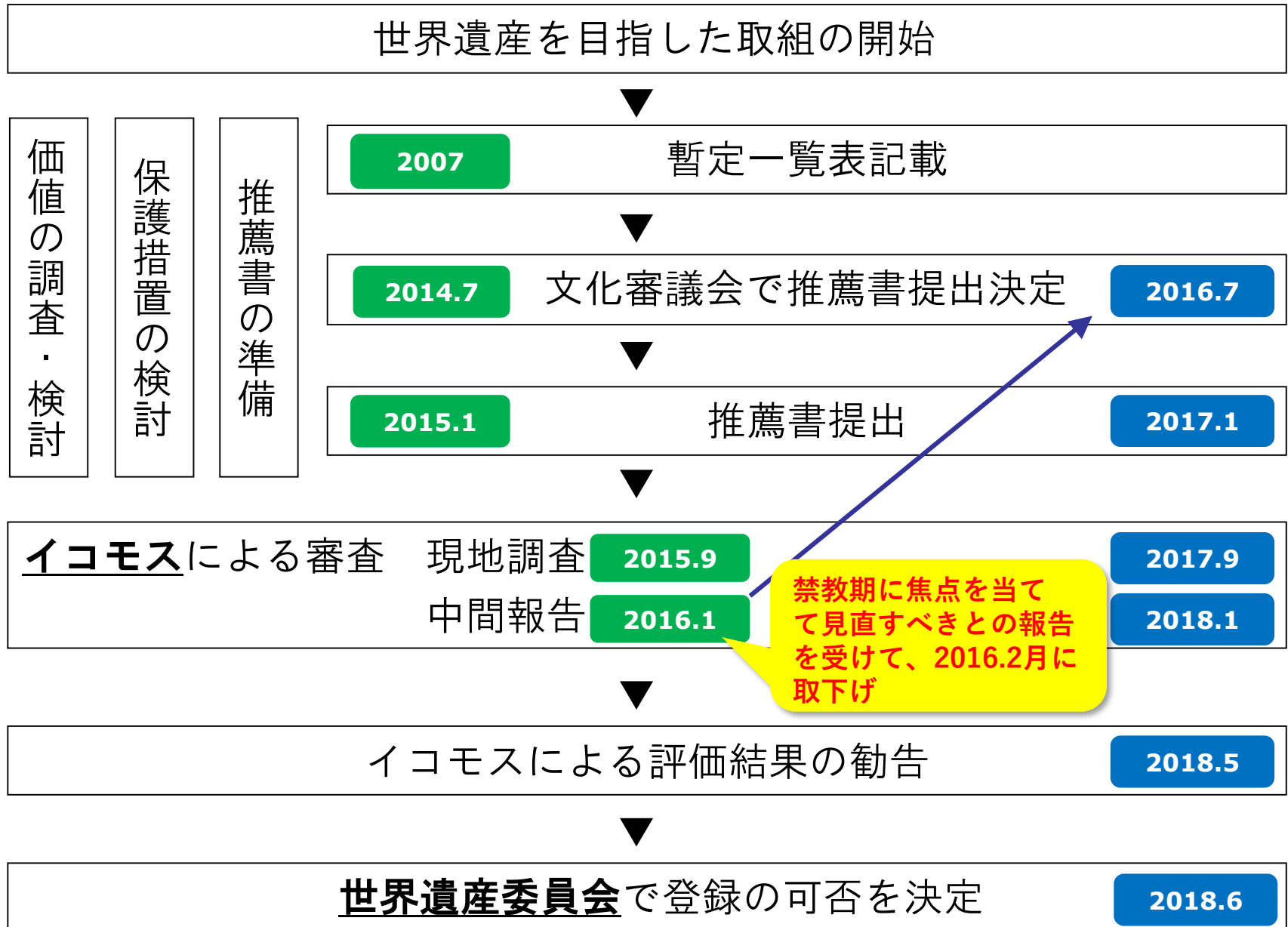
五島などに移住し信仰を守る

「信徒発見」とは、禁教下の1865年、潜伏してキリスト教を信仰してきた浦上の信徒十数名が、外国人居留地に建てられた大浦天主堂を訪れ、プティジャン神父に自らの信仰を告白した出来事。

2世紀を越える期間を隔てた劇的な再会。

⇒ この出来事は、神父によりローマ教皇に直ちに感激とともに伝えられた。

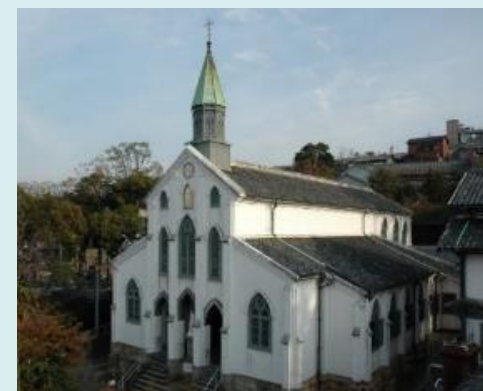
世界遺産までの道のり



長崎の教会群とキリスト教関連遺産〔14〕

16世紀以来の日本におけるキリスト教の受容過程を示す、東西交流と、この交流の中で生まれた文化的伝統を物語る顕著な物証

- ・16世紀の東西交流とキリスト教の伝播を示す「城跡」
- ・禁教下に密かに信仰を継承した「集落」
- ・19世紀の再宣教により各地の集落に建てられた「教会建築」



信徒発見の舞台：大浦天主堂（長崎市）

イコモスの助言

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産〔12〕

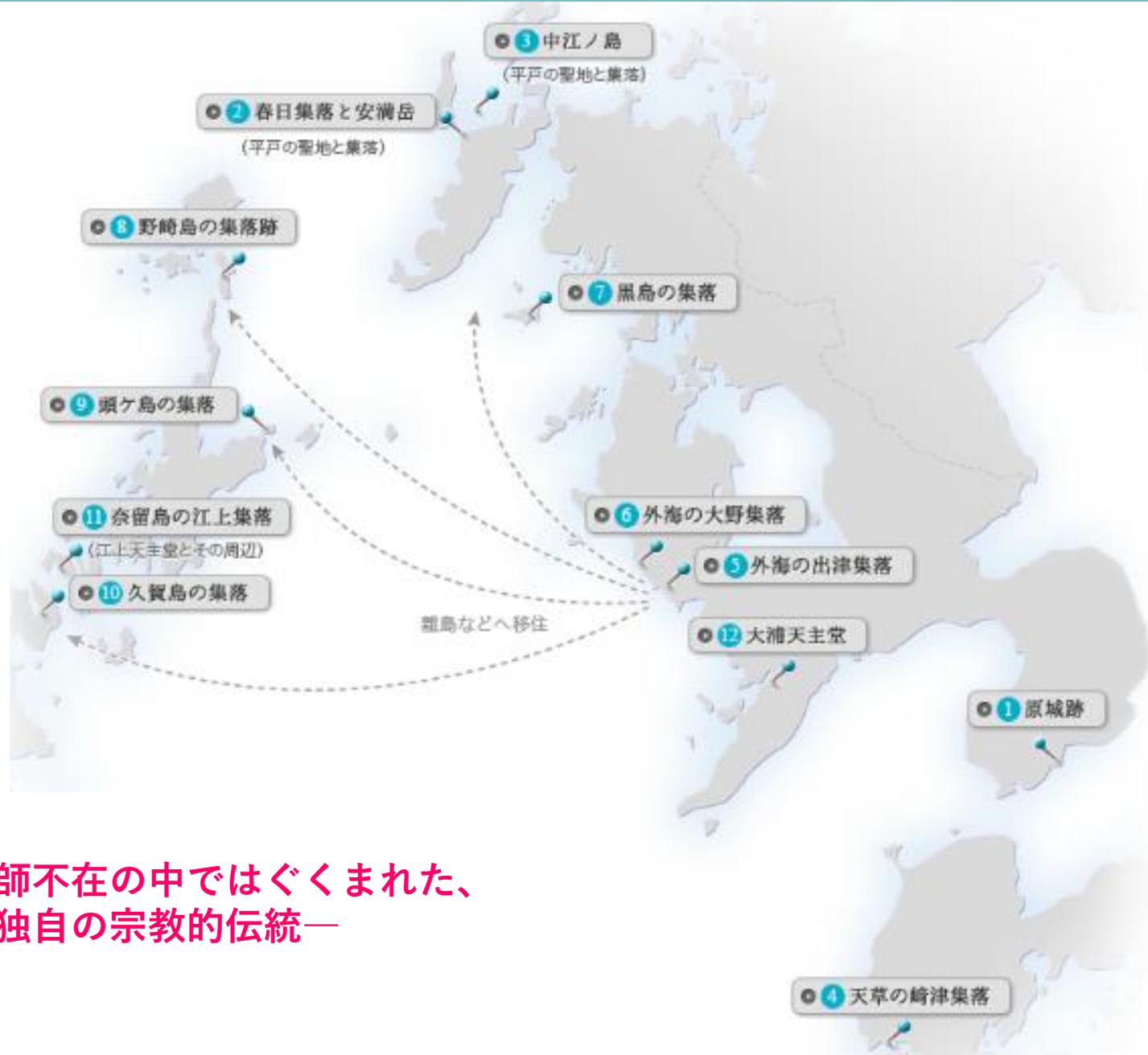
2世紀以上にわたるキリスト教禁教政策の下で密かに信仰を伝えた人々の歴史を物語る他に例を見ない証拠

⇒禁教政策下において形成された潜伏キリシタンの信仰の継続に関わる独特の文化的伝統を表す



春日集落と安満岳：平戸の聖地と集落（平戸市）

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の構造



宣教師不在の中ではぐくまれた、
日本独自の宗教的伝統—

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の構造



I 宣教師不在とキリシタン「潜伏」のきっかけ



① 原城跡

II 潜伏キリシタンが信仰を实践するための試み



②③ 平戸の聖地と集落 (春日集落・中江ノ島)



④ 天草の崎津集落



⑤ 外海の出津集落



⑥ 外海の大野集落

III 潜伏キリシタンが共同体を維持するための試み



⑦ 黒島の集落



⑧ 野崎島の集落跡



⑨ 頭ヶ島の集落

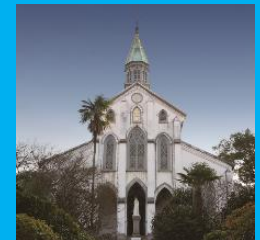


⑩ 久賀島の集落

IV 宣教師との接触による転機と「潜伏」の終わり



⑪ 奈留島の江上集落 (江上天主堂とその周辺)



⑫ 大浦天主堂

① 原城跡



● キリシタンが「潜伏」し、独自に信仰を続ける方法を模索することを余儀なくされた、**きっかけ**となる「島原・天草一揆」の主戦場跡

● 禁教初期に島原半島と天草のキリシタンが蜂起した「島原・天草一揆」の主戦場となった城跡であり、禁教と海禁体制の確立の契機となった場所。

● 1637年、苛政と飢饉を背景に有馬領と天草の2万数千人のキリシタンが蜂起した。



① 原城跡



発掘された人骨



十字架



メダイ



半地下式の小屋跡



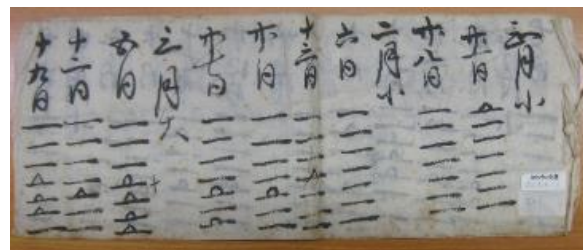
絵図に描かれた小屋
「史跡原城跡整備基本計画書」より

- 4ヶ月に及ぶ攻防戦の末、一揆勢はほぼ全員が殺された。
- 近年行われた発掘調査では、当時の様相を物語る遺構遺物が大量に発見されている。
- 原城本丸西では、発掘調査によって、規則的に造られた半地下式の小屋跡が発見された。
- 出土した信心具とあわせて、原城跡に立て籠もったキリシタンが信仰を維持し、家族・集落単位で組織的に行動していたことを示している。

● 潜伏キリシタンが信仰を続けるために、 何を拜むことによって、信仰を実践したのかを示す4つの集落



- 16世紀の共同体を基礎とする**信仰組織**を編成し、
宣教師に代わって**自らキリシタンの信仰に関わる
儀礼や行事**を行った。
- 各集落では、既存の**社会や宗教**と共生しつつ、「**秘匿**」
を基本とする多様な潜伏キリシタンの**伝統**が育まれた。



「バスチャン暦」
(長崎純心大学博物館蔵)



外海地方で伝えられた聖画
《雪のサンタ・マリア》
(日本二十六聖人記念館蔵)

■ ②、③ 平戸の聖地と集落（春日集落・中江ノ島）

- キリスト教が伝わる以前から信仰された山や、キリシタンが殉教した島を拜むことによって信仰を実践した集落



春日集落の棚田



春日集落と安満岳



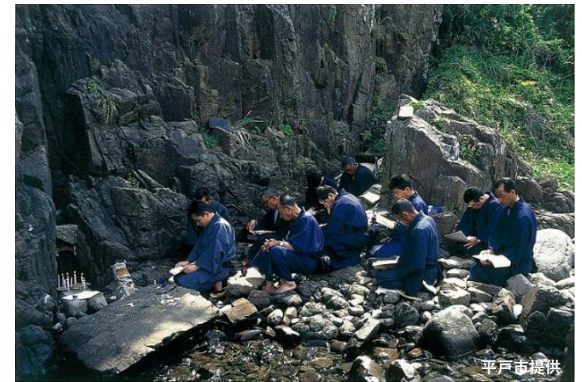
安満岳山頂の石造物



中江ノ島



お水瓶 大浦天主堂蔵



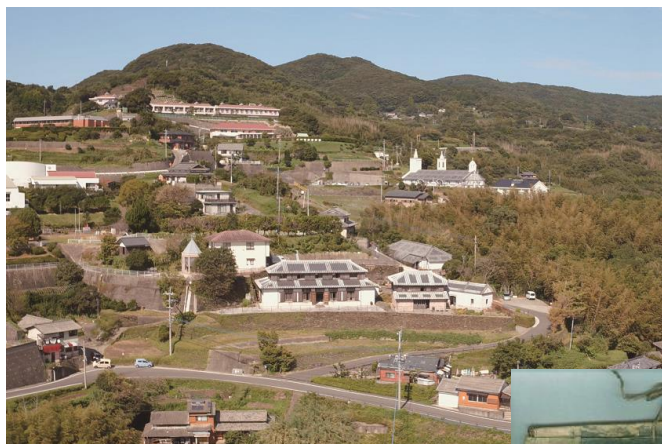
中江ノ島 お水取り

■ ⑤ 外海の出津集落

■ ⑥ 外海の大野集落

● キリスト由来の**聖画像**をひそかに**拝むこと**によって信仰を実践した集落

● **神社**にひそかにまつた**自らの信仰対象**を**拝むこと**によって信仰を実践した集落



出津の集落



ド・ロ神父が描いた出津集落



出津に伝わった聖画



大野教会



キリシタンも祀られた神社



④ 天草の崎津集落

- **身近なものを信心具として代用することによって信仰を実践した集落**
- 豊漁の神様である大黒天や恵比寿神を信仰の対象（キリスト教の唯一神デウス）として崇拝した。
- 貝殻等の海に関わる信心具を用いる等、漁村集落特有の信仰形態が育まれた。



©日暮雄一



- 崎津の潜伏キリシタンは、信仰を装うために崎津諏訪神社に所属し、密かに祈りを捧げた。
- 1805年の「天草崩れ」では、所有する信心具を差し出す場所にもなった。



潜伏キリシタンが祈りを捧げた
崎津諏訪神社から崎津教会を望む

信心具の代わりとした貝類：

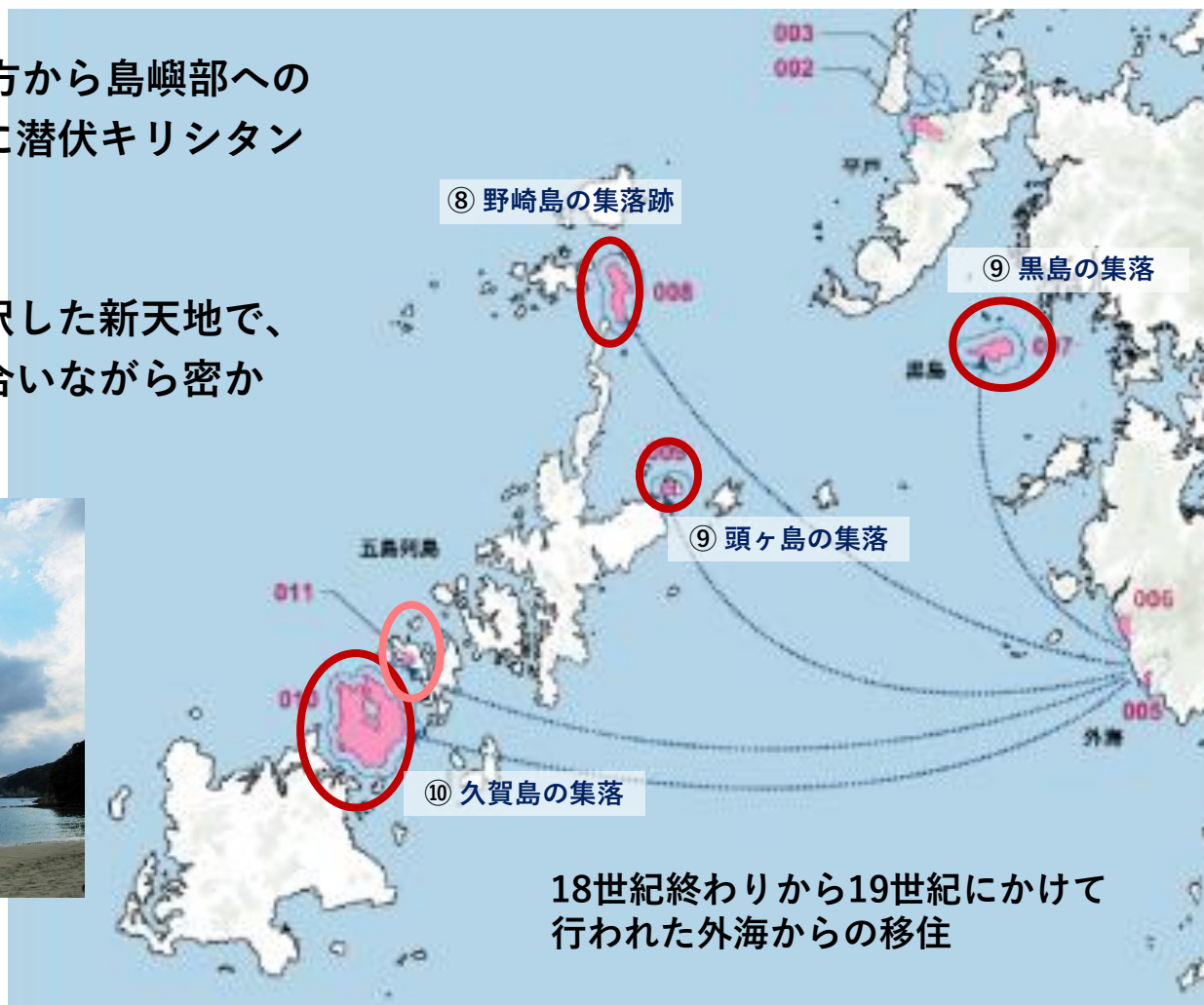
- ・ アワビやタイラギ貝の内側の模様を聖母マリアに見立て祈りを捧げた。
- ・ 白蝶貝を素材とするメダイ

● 潜伏キリシタンが共同体を維持するため、 どのような場所を移住先に選んだのかを示す4つの集落

- 18世紀の終わりに外海地方から島嶼部への開拓移住が行われ、各地に潜伏キリシタン集落が形成された。
- 信仰組織維持のために選択した新天地で、既存の社会や宗教と折り合いながら密かに信仰を継承した。



外海から五島列島へ
最初の上陸地 六方の浜（福江島）

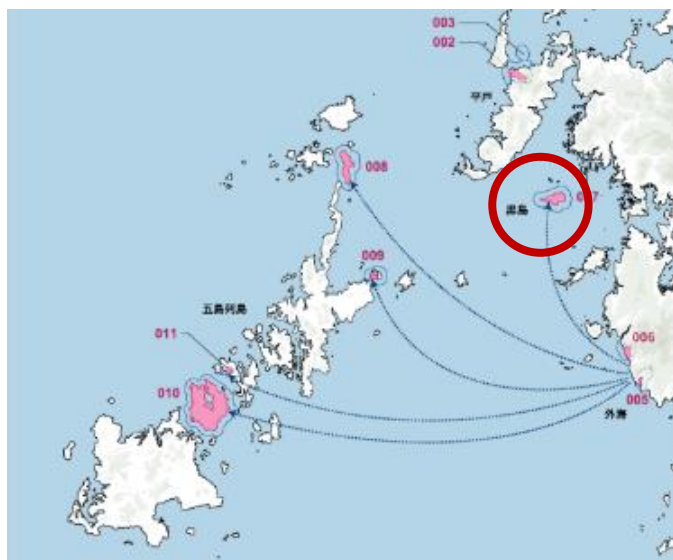


■ ⑦ 黒島の集落

● 平戸藩の**牧場跡の再開発地に開拓移住**することによって、
共同体を維持した集落

● 既存の集落と共存できそうな場所として選んで移住し、表向きは所属していた仏教寺院でマリア像観音像に祈りをささげながら、ひそかに共同体を維持した。

● 解禁後はカトリックに復帰し、島の中心部に教会堂を立てることにより、彼らの「潜伏」は終わりを迎えた。



黒島の集落 根谷地区

■ ⑧ 野崎島の集落跡

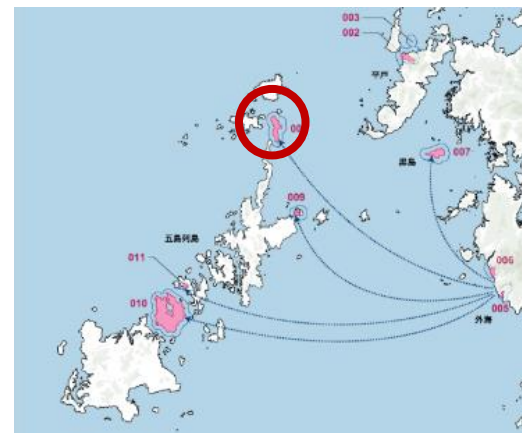
- 神道の聖地であった島に開拓移住することによって、
共同体を維持した集落



- 沖ノ神嶋神社の神官と氏子しか人が住んでいなかった野崎島を移住の適地として選んで移住。

神社の氏子として信仰をカモフラージュしながら、ひそかに共同体を維持した。

- 解禁後はカトリックに復帰し、野崎島の中央部と南部の2つの集落にそれぞれ教会堂を建てたことにより、彼らの「潜伏」は終わりを迎えた。



■ ⑨ 頭ヶ島の集落

- 病人の療養地として使われていた島に開拓移住することによって、共同体を維持した集落



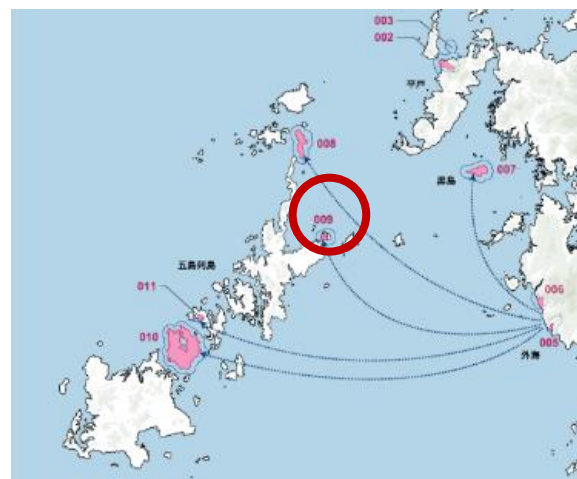
- 病人の療養地として人が近づかなかった頭ヶ島を移住の適地として選んで移住。

- 仏教徒の開拓指導者のもとで信仰をカモフラージュしつつ移住し、ひそかに共同体を維持した。

- 解禁後はカトリックに復帰し、禁教期における指導者の屋敷近くに教会堂を建てたことにより、彼らの「潜伏」は終わりを迎えた。



前田儀太夫の墓



⑩ 久賀島の集落

● 五島藩の政策に従って島の未開発地に開拓移住することによって、共同体を維持した集落

- 外海から、既存の仏教集落と共存できそうな場所を選んで移住し、漁業や農業で彼らと互助関係を築きながら、密かに（信仰の）共同体を維持した。
- 1868年には、潜伏キリシタンは、公然と信仰を表明したため、大規模な摘発事件（牢屋の窄）が起こり、多くの殉教者が出た。



* 島全体が世界文化遺産



ざざれ
細石流地区の集落跡



五輪地区のキリシタン墓地



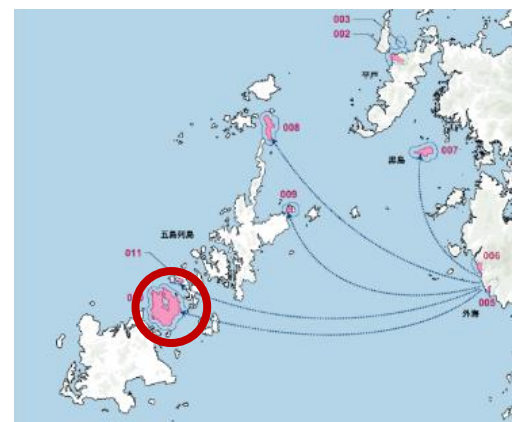
田ノ浦地区の港
仏教徒と協働で漁業を営んだ



大開地区の水田
仏教徒と共同で開拓した



旧五輪教会



⑫ 大浦天主堂

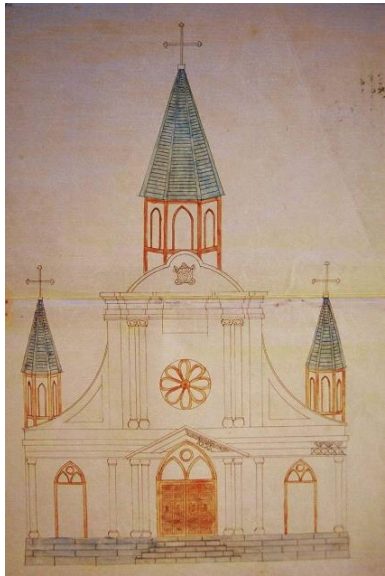
● 宣教師との接触という「潜伏」が終わるきっかけとなる「信徒発見」の場所

- 潜伏キリシタンが宣教師に自らの信仰を告白した「信徒発見」(1865年)の舞台
* 2世紀ぶりの出会い
- その後に続く大浦天主堂の宣教師と各集落の指導者たちの接触は、それぞれの集落において新たな信仰の局面(伝統の変容・終焉)をもたらすきっかけとなった。

→ カトリック復帰 / それまでの信仰形態とどまる / 神道、仏教に改宗

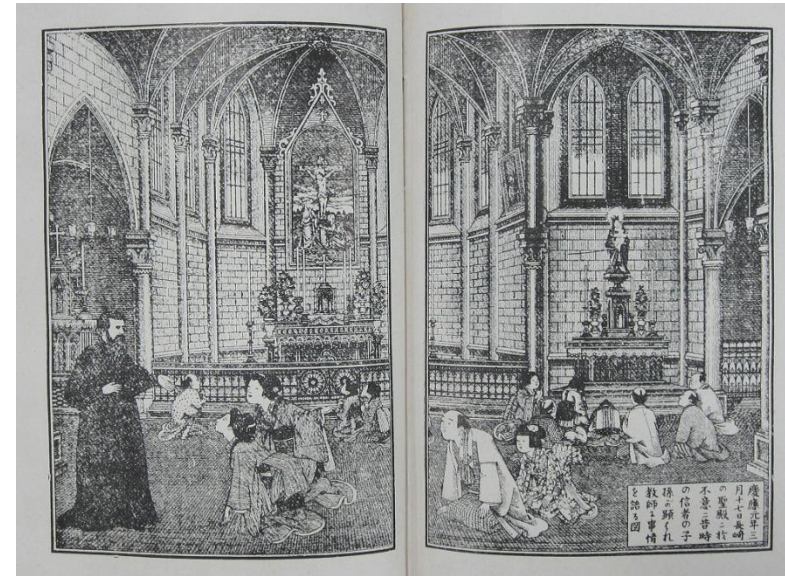


大浦天主堂 聖母子像



© 濱本政春

宣教師が描いた大浦天主堂の設計図
(パリ外国宣教会本部蔵)



プティジャン神父と浦上のキリシタンの出会い
『日本鮮血遺書』より

■ ⑪ 奈留島の江上集落（江上天主堂とその周辺）

- 禁教期に移住によって**集落が形成**され、解禁後に「潜伏」が終わったことを可視的に示す**教会堂**
- 人里は離れた海に近い谷間（迫地形）に集落を形成し、わずかな農地や漁業で生計を営み信仰を継続した。
- 解禁後、在来の建築技術を用いて、集落の地勢に適合した木造教会堂を建設した。



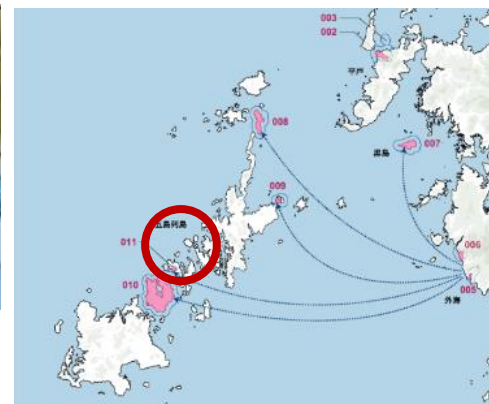
集落周辺の地勢（迫地形）



江上天主堂



気候風土に適した建築技術
手描きのステンドグラス



世界遺産登録後の取組の方向性について

世界遺産は「不動産」



教会建築から集落へ



●評価された点

宣教師不在の中ではぐくまれた、日本独自の宗教的伝統

—信仰を続けた潜伏キリシタンの伝統のあかしとなる遺産群

一見してわかりにくい価値

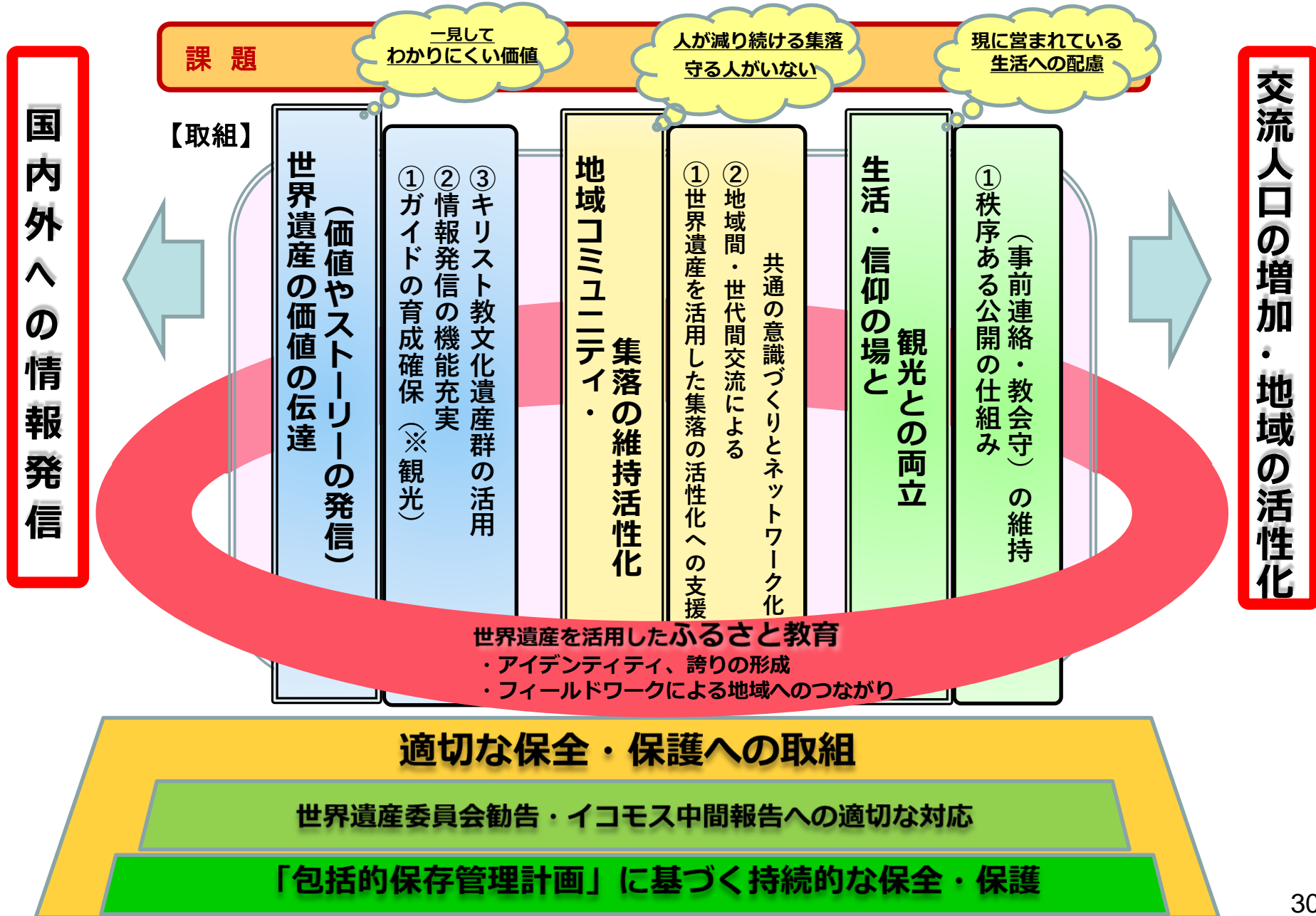
目に見えない価値



どのようにして守り

どう伝えるか

世界遺産登録後の取組の方向性について



世界遺産的価値をコンセプトにした 歴史ブランド化

“登録資産”として
一体的に魅力を発信》》

目的 文化財保護 世界遺産と関連する文化財等を一体的に保護し、文化財としての観点を踏まえた上で、活用・公開の推進について、県・市町村が協働で取り組む。
地域活性化 世界遺産と関連する文化財等の関係性や位置付けを明確にし、歴史文化を生かしたまちづくりや交流人口の拡大につなげる。

対象 長崎と天草地方に残るキリスト教の伝播と普及、禁教下の継承、解禁後の信仰復興といった歴史に関連する教会堂や聖地、集落、城跡、民俗・行事、芸能、関係資料のほか、それらを展示する施設など。



世界遺産の 構成資産

(12資産)

原城跡	南島原市
平戸の聖地と集落 (春日集落と安満岳) (中江ノ島)	平戸市
天草の崎津集落	天草市
外海の出津集落	長崎市
外海の大野集落	長崎市
野崎島の集落跡	小値賀町
頭ヶ島の集落	新上五島町
奈留島の江上集落	五島市
久賀島の集落	五島市
黒島の集落	佐世保市
大浦天主堂	長崎市

これまでの 構成資産候補

日野江城跡	南島原市
吉利支丹墓碑	南島原市
田平天主堂	平戸市
宝亀教会堂	平戸市
平戸島の文化的景観 (根獅子集落等)	平戸市
天草の今富集落	天草市
日本二十六聖人殉教地	長崎市
青砂ヶ浦天主堂	新上五島町
大曾教会堂	新上五島町
堂崎天主堂	五島市

重要な文化財

左記のほか、世界遺産の価値を理解するうえで、重要な文化財
※国・県・市町村の指定文化財(動産・無形を含む)

- 1.世界遺産(構成資産)との関連性が強く、地域の特色をよく表わしているもの
- 2.多くの方に魅力的であるもの
- 3.可能な限り公開されているもの
- 4.地域の人々が保護や継承、活用の活動に関わっているもの

枯松神社	長崎市
浦上教会	長崎市
ウシワキの森	平戸市
南蛮船来航の地	南島原市
etc	

博物館・資料館

長崎歴史文化博物館	長崎市
有馬キリシタン遺産記念館	南島原市
生月町博物館 島の館	平戸市
天草キリシタン館	天草市

etc

一体的な情報発信
や活用を目指す、
文化財、スポット等

関連スポット

一体的な情報発信や活用により、
地域活性化に役立てていきたい
関連の文化財、スポット等

「キリスト教関連歴史文化遺産群」を発信するホームページ

● ぶらり旅

(毎週水曜日更新)

キリスト教文化遺産群のほか
周辺のスポットを訪ね歩き、
訪問者目線で周遊ルートを紹介。



おらしょ ころ旅 検索

● フォト巡礼 (毎週金曜日更新)

潜伏キリシタン集落の現在の様相などの写真を、撮影した写真家の
意図（コンセプト）と併せて公開。

● おらしょ通信 (毎週月曜日更新)

世界遺産に関連する情報、教会やキリスト教にまつわるエピソード、
日々の暮らしの中で見つけた興味深い話題をご提供。

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 インフォメーションセンター

(長崎の教会群インフォメーションセンター)



**世界遺産候補エリア内の教会見学は
【事前連絡】をお願いします。**
※大浦天主堂の見学には、事前連絡は必要ありません。
※対象となる教会は、一覧表示に掲載の9つの教会です。

事前連絡は
こちらから
[一覧表示]

TEL 095-823-7650
<http://kyoukaigun.jp/>

教会見学に当たってのお願い
教会堂は「祈りの場」ですので、見学マナーを守り、厳肅な雰囲気の中で心静かに過ごしてください。教会行事（ミサ、葬儀等）により見学できない場合や、一度に多くの見学者を受け入れられない場合もあるため、見学を希望される際には【事前連絡】をお願いしています。
なお、大野教会堂については、原則、内部は非公開のため外観のみの見学になります。
田平天主堂は、世界遺産候補に関連する重要な文化財として多くの皆様にご訪問いただいている現状を踏まえ、同様に事前連絡をお願いしています。



ガイドのお申込は
長崎巡礼センター
TEL 095-893-8763

*** 旧野首教会**見学をご希望の場合は、
おぢかアイランドツーリズム
へご連絡ください。
お問合せ・連絡先 **TEL 0959-56-2646**
<http://ojikajima.jp/>

*** 崎津教会**を見学をご希望の場合は、
九州産交ツーリズム株式会社旅行センター
へご連絡ください。
お問合せ・連絡先 **TEL 096-300-5535**
<https://www.kyusanko.co.jp/ryoko/pickup/saki-tsu-church/>

観光客の皆様に満足いただくためには

課題

取組

世界遺産の価値の伝達（価値やストーリーの発信）

一見して
わかりにくい価値

物見遊山の観光
スタイルでは感動が
伝わりにくい

訪れる観光客に
満足してもらう
ためには…

潜伏キリシタンの世界史的価値

伝来期

日野江城跡、天正遣欧少年使節像、
大村純忠終焉の居館跡 等

禁教期

潜伏キリシタン関連遺産の12の構成資産 等

復活期

田平天主堂、堂崎天主堂 等

（一社）長崎巡礼センター
TEL 095-893-8763

ガイド活用

または、地域の各ガイド団体へ

その他の地域の魅力

・世界遺産（産業革命遺産） ・日本遺産（鎮守府、
日本磁器のふるさと肥前など） ・離島（壱岐・対馬・
五島） ・海などの自然景観 ・地域のおもてなし 等

周遊促進（ツールの活用）
情報発信

（例）長崎の世界遺産めぐり（ガイドブック）→
メトロ書店、紀伊国屋等で好評販売中！

再来訪

感動

観光客

交流人口の増加・地域の活性化



ご清聴有難うございました。



野崎島の集落跡

